

令和6年度（2024年度）第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議 事 録

日 時：令和6年（2024年）6月24日（月）午後3時24分～

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：

<理事> 理事長 黒田 忠広
副理事長（学長） 堤 裕昭
理事（副学長） 鈴木 元
理事（事務局長） 梅川 日出樹
理事 櫻井 一郎
<監事> 監事 吉川 榮一
監事 本田 悟士

<事務局> 加藤事務局次長、堀口教務入試課長、樋口学生支援課長、國武企画調整室長、柳田総務課長、武末図書館事務長、犬塚地域・研究連携センター事務長、木村デジタルイノベーション推進センター事務長、平松国際教育交流センター事務長、井上監査室長、山本総務課総務班長、笥総務課財務班長、松尾総務課財務班参事、井上総務課総務班参事、松本企画調整室参事

1 開会（進行：加藤事務局次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：黒田理事長）

（1）審議事項

①文学部英語英米文学科の改組について

副学長から、資料1に基づき、文学部英語英米文学科について、より高度な英語運用能力とGlobal Competenceを身に付けた「地域に生き、世界に伸びる」人材の育成を目指し、令和8年度にカリキュラムを改正するとともに学科名称を変更することとしたいとの説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

②第3期中期計画・令和5年度計画に関する自己点検・評価（案）等について

事務局から、資料2に基づき、中期計画・年度計画に関する自己点検・評価（案）等について、全50項目中、S～Cの4段階評価でS評価が1項目、A評価が47項目、B評価が2項目であり、B評価の2項目は文学部英語英米文学科の検証指標のうち、一般的に留学に必要とされる英語能力に到達した学生割合が目標に到達していないことと2,000名以上の検証指標に対して令和6年度入学者選抜における学部志願者数が1,882名であったことによるものだが、ほぼ順調に実施できたと総括していることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

③令和5年度決算について

事務局から、資料3に基づき、令和5年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類（案）、決算報

告書により説明があった。

経常損益の状況及び地方独立行政法人会計基準等の改定により処理を行った結果、前年度の総利益より 22 億 28 百万円の増となり、当期総利益は 22 億 51 百万円となった。この利益を含む 26 億 62 百万円については、法に基づき、積立金として積み立てることとし、県に承認を求めるとの説明があった。

続いて、吉川監事から独立監査人の監査報告書及び監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

④第 3 期中期目標期間業務実績に係る自己点検・評価（案）等について

事務局から、資料 4 に基づき、第 3 期中期目標期間業務実績に係る自己点検・評価（案）等について、全 50 項目中、S～C の 4 段階評価で S 評価が 2 項目、A 評価が 46 項目、B 評価が 2 項目であり、B 評価の 2 項目は第 3 期目標計画期間において、一部の研究科が収容定員充足率を満たしていなかったことと、文学部英語英米文学科の検証指標のうち、一般的に留学に必要とされる英語能力に到達した学生割合が目標に到達していないことによるものだが、ほぼ順調に実施できたと総括していることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①公立大学法人熊本県立大学定款の変更について

事務局から、資料 8 に基づき、公立大学法人熊本県立大学定款の変更について報告があった。

②熊本県立大学未来基金の令和 5 年度(2023 年度)収支状況について

事務局から、資料 9 に基づき、熊本県立大学未来基金の収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

4 その他

- 次回理事会は、令和 6 年(2024 年)10 月 23 日(水)の経営会議終了後に開催予定。

5 閉会

以上